

## 映画『僕達急行 A列車で行こう』 ロケ地・駒鳴駅が生み出した経済波及効果について

佐賀県フィルムコミッションがロケ誘致を行い、平成 22 年（2010 年）9 月に撮影が行われた駒鳴駅。JR によると 1 日平均 10 人程度の利用しかなかった駒鳴駅が映画のロケ地になったことで、現在、全国から注目を集めている。

映画自体については、現在放送中の NHK 大河ドラマ『平清盛』で主演を演じている松山ケンイチ、さらに映画公開直前まで放送されていた人気の月 9 ドラマ『ラッキーセブン』（CX）で準主演ながら嵐・松潤との掛け合いが好評だった瑛太という最も旬な俳優二人がキャスティングされていることに加え、期せずして森田芳光監督の遺作となったことなどから各種メディアに取り上げられる機会が増すなど、様々な効果を後押ししたと考えられる。

実際、映画の宣伝キャンペーンで各種媒体に対し、松山ケンイチらが九州ロケに関する話題では必ず「駒鳴駅のロケーションが素晴らしい」とコメントしたことにより映画公開前から駒鳴駅へ人がぼつぼつと訪れはじめ、イベントと連動して行われた各種スタンプラリー開催、全国公開に合わせて旅行会社のロケ地ツアー商品が発売され東京や福岡発着のツアーが催行されるなどして観光地化が一気に加速した。

経済波及効果の推計については、下記の方法により算出。

[算出ツール] 「平成 17 年佐賀県産業連関表（34 部門分類表）」を使用し、県内生産額は H21 年度県民経済計算（2,723,530 百万円）、平均消費性向は H22 家計調査年報の佐賀市の値（0.652）を使用、波及効果の試算は 2 次波及までとした。

[算出基礎] 駒鳴駅に訪れた人にアンケート調査を実施。質問は、「どこから来たか」「交通手段は」「食事は、またその費用（予算）は」「お土産は、その費用（予算）は」など。このアンケート結果を集計したものをベースとした。

また、ツアー客については、催行されたもの、また今後催行が決定しているものだけを積算に加えた。

[推計値] 今後も映画公開が続くこと、少なくとも映画公開中は駒鳴駅を訪れる観光客がある程度予想されることを考慮して算出。

ただし、各種メディアに取り上げられることによる PR 効果については今回の推計には含まない。